

令和元年度春期 災害対策専門研修

マネジメントコース：ベーシック

主担当：主任研究員 松川 杏寧

時間\日付	6月26日(水)	6月27日(木)	6月28日(金)
9時25分		オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限 (センター展示見学:希望者のみ)	地震・津波への備えと対応 清野 純史 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学大学院工学研究科教授) ・地震・津波の発生メカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解し、自治体の対応を考える	災害対応＋危機管理総論 木村 玲欧 兵庫県立大学環境人間学部大学院 環境人間学研究科教授 ・災害対応・危機管理の基本的な考え方について概要を学ぶ
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 松川 杏寧 人と防災未来センター主任研究員	災害史と社会 福和 伸夫 人と防災未来センター上級研究員 (名古屋大学 減災連携研究センター長・教授) ・過去の震災が歴史に与えた影響を学びつつ、現代の都市と社会の分析をとおして、その脆弱性と災害像を予測し、備えの方法を考える	災害関連法体系基礎 山崎 栄一 関西大学社会安全学部教授 ・災害対策基本法・災害救助法の守備範囲を理解する
13時15分～14時30分	3限 災害と男女共同参画 斉藤 容子 人と防災未来センターリサーチフェロー (関西学院大学災害復興制度研究所研究員) ・災害時における男女共同参画の視点をこれまでの事例を踏まえて理解を深める	行政における災害対応業務の実際 後藤 武志 飯田市危機管理室 次長補佐兼防災係長 ・大規模災害における行政対応の経験や、地域に向けての防災・減災活動の経験について学び、災害対応業務の実際について学ぶ	被災者対応総論 重川 希志依 常葉大学大学院環境防災研究科教授 ・災害時に行政が対応すべき被災者支援業務の内容とその流れについて理解する
14時45分～16時00分	4限 風水害への備えと対応 赤松 光夫 神戸地方気象台 防災気象官 ・風水害の発生過程とその被害を理解し、自治体の具体的対応(警報・避難等)を学ぶ	都市の復興概論＋復興まちあるき 小林 郁雄 人と防災未来センター上級研究員 (兵庫県立大学 特任教授) ・阪神・淡路大震災の被災地を歩き、復興過程についての様々な取り組みを学ぶ	ふりかえりワークショップ 松川 杏寧 人と防災未来センター主任研究員 ・参加者の意見交換から、災害対応における姿勢を学ぶ
16時15分～17時30分	5限 地域防災計画論 今石 佳太 人と防災未来センター-disasterManager 益城町 危機管理監 ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する		16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分	レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

令和元年度春期 災害対策専門研修

マネジメントコース：エキスパートA

主担当：主任研究員 楊 梓

時間\日付	6月11日(火)	6月12日(水)	6月13日(木)	6月14日(金)
9時25分		オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限 (センター展示見学:希望者のみ)	<u>市民社会ワークショップ</u> 立木 茂雄 人と防災未来センター 上級研究員 (同志社大学社会学部 教授) 山本 康史 ハロ-ボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌	<u>災害対応各論(広域連携)</u> 阪本 真由美 人と防災未来センター リサーチフェロー(兵庫 県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連 携のあり方について理解を深める	<u>危機対応時の組織論(情報システム)</u> 佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所 准教授 ・災害発生前後の情報の収集・整理と共有化の 重要性を理解し、情報システムの活用方策を 学ぶ
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション ※引き続き、ランチミーティングを行います。 (～13:00) 楊 梓 人と防災未来センター 主任研究員	ハロ-ボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボラン ティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政と の関係のあり方について理解を深める	<u>危機対応各論(行政と自衛隊との連携)</u> 早川 喜代司 (元 陸上自衛隊第3師団飛行隊長) ・行政と自衛隊の連携について理解を深める	<u>危機対応時の組織論(戦略的な広報について)</u> 川西 勝 人と防災未来センター リサーチフェロー (読売新聞大阪本社編集局編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課 題を学ぶ
13時15分～14時30分	3限 <u>災害過程総論<1h/～14:15></u> 河田 慈人 人と防災未来センター 研究員 ・災害発生後の3つのフェーズ(初動期、応急 期、復旧期)を理解し、各フェーズに必要な見 通しを持った災害対応業務について学ぶ <1.5h/14:30～> <u>災害対応概論(初動期・応急期)</u>	<u>民間企業と連携した災害対応</u> 関口 和明 ヤフー株式会社 SR推進統括本部 災害協定プ ロジェクトマネージャー 水谷 嘉浩 Jバックス株式会社 代表取締役 全国段ボール工業組合連合会防災担当アドバ イザー ・民間企業と連携した平常時の減災対策や災 害時の応急対策について、取り組み事例に基づ き学ぶ	<u>災害対応各論(災害時の物流対応)</u> 興村 徹 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協 会(JILS) JILS総合研究所 副所長 ・災害直後から被災者の生活支援のための物 流対応について、自治体担当部署のみならず 民間運送会社などの能力も活用した実践的な 事例を学ぶ	<u>災害対応各論(被災者救護の実践的取り組み)</u> 三上 晴由貴 新潟県総務管理部市町村課 財政班 行政調査員 ・災害救助法適用事例等から、法に定める応急 救助の具体的内容と、被災自治体に対する財 政措置について理解を深める。
14時45分～16時00分	4限 古越 武彦 人と防災未来センター リサーチフェロー (長野県危機管理部危機管理防災課防災係 長) ・実災害をケーススタディとして、初動期・応急 期における目標管理型の災害対応の重要性 や、関係機関との連携、受援体制構築の必要 性を学ぶ	<u>災害対応各論(医療活動)</u> 高岡 誠子 人と防災未来センター 研究員 ・災害現場の医療活動体制について理解を深 める	<u>災害対応ワークショップ</u> 高岡 誠子 人と防災未来センター 研究員 ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方 を身につける	<u>全体振りかえりワークショップ</u> 楊 梓 人と防災未来センター 主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修 で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限 <u>災害対応概論(復旧期・復興期)</u> 澤田 雅浩 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授 ・復旧・復興期の対応について、過去の実践事 例などを紹介しながら、初動期、応急期の対応 との関係、復旧・復興プロセスへ与える影響など について学ぶ	<u>災害対応演習(クマ演習)</u> 中林 啓修 人と防災未来センター 主任研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対 応の考え方について学ぶ		16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

令和元年度秋期 災害対策専門研修

マネジメントコース：エキスパートA

主担当：研究員 佐藤 史弥

時間\日付	10月15日(火)	10月16日(水)	10月17日(木)	10月18日(金)	
9時25分		オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	
09時30分～10時45分	1限	<p><u>市民社会ワークショップ</u> 立木 茂雄 人と防災未来センター 上級研究員 (同志社大学社会学部 教授) 山本 康史 ハロ-ボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌</p>	<p><u>災害対応各論(広域連携)</u> 阪本 真由美 人と防災未来センター リサーチフェロー(兵庫 県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連 携のあり方について理解を深める</p>	<p><u>災害対応各論(医療活動)</u> 甲斐 達朗 人と防災未来センター 上級研究員 (済生会千里病院 千里救命救急センター 顧 問) ・災害現場の医療活動体制について理解を深 める</p>	
11時00分～12時15分	2限	<p>10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション ※引き続き、ランチミーティングを行います。 佐藤 史弥 人と防災未来センター 研究員</p>	<p>ハロ-ボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボラン ティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政と の関係のあり方について理解を深める</p>	<p><u>危機対応各論(行政と自衛隊との連携)</u> 早川 喜代司 (元 陸上自衛隊第3師団飛行隊長) ・行政と自衛隊の連携について理解を深める</p>	<p><u>危機対応時の組織論(戦略的な広報について)</u> 川西 勝 人と防災未来センター リサーチフェロー (読売新聞大阪本社編集局編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課 題を学ぶ</p>
13時15分～14時30分	3限	<p><u>災害過程総論<1h/～14:15></u> 松川 杏寧 人と防災未来センター 主任研究員 ・災害発生後の3つのフェーズ(初動期、応急 期、復旧期)を理解し、各フェーズに必要な見 通しを持った災害対応業務について学ぶ</p>	<p><u>民間企業と連携した災害対応</u> 関口 和明 ヤフー株式会社 CSR推進室 災害協定プロジェ クトマネージャー 水谷 嘉浩 Jパックス株式会社 代表取締役 全国段ボール工業組合連合会 防災担当アドバ イザー ・民間企業と連携した平常時の減災対策や災 害時の応急対策について、取り組み事例に基づ き学ぶ</p>	<p><u>危機対応時の組織論(情報システム)</u> 佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所 准教授 ・災害発生前後の情報の収集・整理と共有化の 重要性を理解し、情報システムの活用方策を 学ぶ</p>	<p><u>災害対応各論(被災者救護の実践的取り組み)</u> 三上 晴由貴 新潟県総務管理部市町村課 財政班 行政調査員 ・災害救助法適用事例等から、法に定める応急 救助の具体的内容と、被災自治体に対する財 政措置について理解を深める。</p>
14時45分～16時00分	4限	<p><1.5h/14:30～> <u>災害対応概論(初動期・応急期)</u> 古越 武彦 人と防災未来センター リサーチフェロー (長野県危機管理部危機管理防災課防災係 長) ・実災害をケーススタディとして、初動期・応急 期における目標管理型の災害対応の重要性 や、関係機関との連携、受援体制構築の必要 性を学ぶ</p>	<p><u>災害対応各論(災害時の物流対応)</u> 興村 徹 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協 会(JILS)JILS総合研究所 副所長 ・災害直後から被災者の生活支援のための物 流対応について、自治体担当部署のみならず 民間運送会社などの能力も活用した実践的な 事例を学ぶ</p>	<p><u>災害対応ワークショップ</u> 佐藤 史弥 人と防災未来センター 研究員 ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方 を身につける</p>	<p><u>全体振りかえりワークショップ</u> 佐藤 史弥 人と防災未来センター 研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修 で得た知識を実践に活かす方法を考える</p>
16時15分～17時30分	5限	<p><u>災害対応概論(復旧期・復興期)</u> 澤田 雅浩 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授 ・復旧・復興期の対応について、過去の実践事 例などを紹介しながら、初動期、応急期の対応 との関係、復旧・復興プロセスへ与える影響など について学ぶ</p>	<p><u>災害対応演習(クマ演習)</u> 河田 慈人 人と防災未来センター 研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対 応の考え方について学ぶ</p>		<p>16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式</p>
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム		

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

令和元年度春期 災害対策専門研修

マネジメントコース:エキスパートB

主担当:主任研究員 木作 尚子

時間\日付		6月18日(火)	6月19日(水)	6月20日(木)	6月21日(金)
9時25分		オリエンテーション			
09時30分～10時45分	1限	(センター展示見学:希望者のみ)	災害時の健康危機管理 高岡 誠子 人と防災未来センター研究員 ・被災住民の健康危機に対する行政の支援について理解を深める	災害時のメディア対応 木戸 崇之 人と防災未来センターリサーチフェロー ((株)イービーシー・リブラ 専任マネージャー) ・メディアに振り回され、災害対応を複雑化させる負のスパイラルを離れ、マスメディアやその他の手段を活用して、被災者と職員の状況を好転させる情報の受発信方法を学ぶ	災害時要配慮者への対応 立木 茂雄 人と防災未来センター 上級研究員 (同志社大学社会学部 教授) ・災害時要配慮者の実態とそれを踏まえた対応について学ぶ
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション ※引き続き、ランチミーティングを行います。(～13:00) 木作 尚子 人と防災未来センター主任研究員	避難の実態と課題 宇田川 真之 人と防災未来センターリサーチフェロー (東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任助教) ・多様な災害種別や状況によって異なる避難行動の在り方や、避難情報の発信・伝達・内容などについて学ぶ	標準的な災害対応システム論 牧 紀男 人と防災未来センター震災資料研究主幹 (京都大学防災研究所教授) ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する
13時15分～14時30分	3限	被災者行政の流れと課題 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー(大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員) ・被災者の生活再建を見据えた行政業務の一連の流れと課題について、初期段階での留意点やマネジメントについて学ぶ	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 矢守 克也 人と防災未来センター上級研究員(京都大学防災研究所巨大災害研究センター・教授) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	災害対策本部の空間構成設計演習 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト取締役 マネージャー・首席コンサルタント ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	業務継続マネジメント論 紅谷 昇平 人と防災未来センターリサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授) ・各公共機関における災害時の業務継続の重要性について、また、その方法について、具体的な事例を交えて理解する
14時45分～16時00分	4限	NGO/NPOの災害対応と協働 明城 徹也 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)事務局長 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー(大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員) ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ			全体振りかえりワークショップ 木作 尚子 人と防災未来センター主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限	図上訓練設計 藤原 宏之 伊勢市危機管理部危機管理課 主事 ・行政職員に向けての図上訓練をどのように設計すればよいのか、具体的な事例を交えつつ学ぶ。	災害時のこころのケア 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹 ・災害発生初動期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて	災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 神戸山手大学 学長 関西国際大学 副学長 教授 (元兵庫県防災監) ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

令和元年度秋期 災害対策専門研修
マネジメントコース:エキスパートB

主担当：研究員 寅屋敷 哲也

時間\日付	10月8日(火)	10月9日(水)	10月10日(木)	10月11日(金)
9時25分		オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限 (センター展示見学：希望者のみ)	災害対策本部の空間構成設計演習 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト取締役 マネージャー・主席コンサルタント ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	標準的な災害対応システム論 牧 紀男 人と防災未来センター震災資料研究主幹 (京都大学防災研究所教授) ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ	災害時のこころのケア 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹 ・災害発生初期期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション ※引き続き、ランチミーティングを行います。 (～13:00) 寅屋敷 哲也 人と防災未来センター研究員		災害時のメディア対応 木戸 崇之 人と防災未来センターリサーチフェロー ((株)イービーシー・リブラ 専任マネージャー) ・メディアに振り回され、災害対応を複雑化させる負のスパイラルを離れ、マスメディアやその他の手段を活用して、被災者と職員との状況を好転させる情報の受発信方法を学ぶ	業務継続マネジメント論 紅谷 昇平 人と防災未来センターリサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授) ・各公共機関における災害時の業務継続の重要性について、また、その方法について、具体的な事例を交えて理解する
13時15分～14時30分	3限 ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 矢守 克也 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター・教授) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	災害時要配慮者への対応 立木 茂雄 人と防災未来センター 上級研究員 (同志社大学社会学部 教授) ・災害時要配慮者の実態とそれを踏まえた対応について学ぶ	図上訓練設計 藤原 宏之 人と防災未来センター 研究調査員 (伊勢市危機管理部危機管理課 主事) ・行政職員に向けての図上訓練をどのように設計すればよいのか、具体的な事例を交えて学ぶ。	避難の実態と課題 宇田川 真之 人と防災未来センターリサーチフェロー (東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任助教) ・多様な災害種別や状況によって異なる避難行動の在り方や、避難情報の発信・伝達・内容などについて学ぶ
14時45分～16時00分	4限	被災者行政の流れと課題 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー (京都経済短期大学経営情報学科 専任講師) ・被災者の生活再建を見据えた行政業務の一連の流れと課題について、初期段階での留意点やマネジメントについて学ぶ	災害時の健康危機管理 高岡 誠子 人と防災未来センター研究員 ・被災住民の健康危機に対する行政の支援について理解を深める	全体振りかえりワークショップ 寅屋敷 哲也 人と防災未来センター研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限	災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 神戸山手大学 学長 関西国際大学 副学長 教授 (元兵庫県防災監) ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める	NGO/NPOの災害対応と協働 明城 徹也 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVQAD) 事務局長 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー (京都経済短期大学経営情報学科 専任講師) ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する
～17時45分	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

令和元年度春期 災害対策専門研修
アドバンスト／防災監・危機管理監コース

主担当：研究員 高岡 誠子

7月11日(木)	7月12日(金)
<p>(9:30～ センター展示見学：希望者のみ)</p>	<p>9:30～11:00 90分 行政対応特論② 春藤 尚久 吹田市 副市長 ・市町村における災害対応事例から課題や教訓を学ぶ。</p>
<p>10:30～10:45 開講式 10:45～11:05 オリエンテーション 高岡 誠子 人と防災未来センター 研究員</p>	<p>11:15～12:30 75分 災害対応特論 室崎 益輝 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科長 ・災害の状況に応じて既存法制度の限界部分、対応策についての指示、判断ができるようになるための考えを深める。講義は討論形式で行う。</p>
<p>11:15～12:25 70分 目標管理型災害対応論 中林 啓修 人と防災未来センター 主任研究員 ・目標管理型災害対応の考え方やその具体的内容について、過去の災害事例を踏まえ理解する。</p>	<p>休憩</p>
<p>13:30～15:00 90分 危機対応組織論 河田 恵昭 人と防災未来センター センター長 ・危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする能力について理解する。</p>	<p>13:30～16:00 150分 (途中休憩あり) 災害対応検討ワークショップ ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける。</p> <p>室崎 益輝 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科長 中林 啓修 人と防災未来センター 主任研究員 高岡 誠子 人と防災未来センター 研究員</p>
<p>15:10～15:15 グループ内自己紹介</p>	<p>16:00～16:15 レポートタイム 16:15～16:30 閉講式</p>
<p>15:15～17:30 135分(途中休憩を含む) 行政対応特論① 齋藤 富雄 神戸山手大学 学長 関西国際大学 副学長 教授 (元兵庫県防災監) ・県における大規模災害時の対応事例を知り、災害発生後の対応や課題と首長に助言すべき内容を学ぶ。講義は討論形式で行う。</p>	
<p>17:30～17:45 レポートタイム</p>	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。